



各 位

2014年12月15日

会社名 日立化成株式会社  
代表者名 執行役社長 田中一行  
(コード番号 4217 東証第一部)  
問合せ先 CSR 統括部コーポレートコミュニケーションセク長  
加藤 淳  
(電話:03-5533-7147)

## 連結業績予想の修正に関するお知らせ

平成27年3月期第1四半期決算発表時(平成26年7月25日)に公表した平成27年3月期(平成26年4月1日～平成27年3月31日)の連結業績予想を下記のとおり修正いたします。

### 記

#### 1. 平成27年3月期の連結業績予想の修正(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (平成26年7月25日発表)	百万円 523,000	百万円 36,000	百万円 36,000	百万円 25,000	円 銭 120.05
今回修正予想(B)	530,000	37,000	41,000	21,000	100.84
増減額(B-A)	7,000	1,000	5,000	△4,000	
増減率(%)	1.3%	2.8%	13.9%	△16.0%	
(参考)前期連結実績 (平成26年3月期)	493,766	27,775	32,081	24,103	115.74

#### 2. 修正の理由

次の要因を踏まえ、連結業績予想の修正を行いました。

- (1) 本日、同時に公表した希望退職の募集結果に基づき、退職加算金および転職支援費用を、当年度第3四半期において特別損失(約130億円)として計上予定。
- (2) 福島第一原子力発電所の事故に伴う東京電力(株)からの受取補償金を、当年度第3四半期および第4四半期において特別利益(約20億円)として計上予定。
- (3) 平成26年7月25日および9月24日に公表した、台湾神戸電池股份有限公司の株式取得に関し、株式売買契約が完了し、当年度第4四半期より連結子会社に加わる予定。
- (4) 急激な円安の影響による売上高・利益増加要因がある一方で、当社の下期の需要見通しが当初の想定を下回り、半導体用材料、配線板材料、蓄電デバイス等が物量減となる見込み。

以 上

※本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる結果となる場合があります。